

VAN DXの質素内装に和柄の抑えた主張が光る！
専用シートカバーが登場！



純正パイザーに被せるだけのお手軽装着。メタリック調和生地採用やダブルステッチ縫製などシートカバー同様製法で作られている。[BUAN サンバイザーカバー・和柄鯉] (ブラック) ナロー用 8400円、ワイドボディ用 9450円



先にデビューしていた「モノトーン調」の和柄デザインである舞杏シートカバーに待望のVAN DX用がデビュー。ソフトBioPVCレザー素材に、光る糸を用いた和柄を溶け込ませた逸品。2ndシート用ももちろんセットで鉄板剥きだしのVAN DX純正車室内に嫌味無くマッチする。[BUANレザーシートカバー・和柄鯉 200系DX用 (ブラック) 3万9800円 (1&2列目)]

京都をテーマにハイエースアイテムを開発する「ほんなり」ブランド！

THE “京”モノトーン！ “革シボ”の舞杏登場！

鮮やかな京友禅をアクリルに閉じ込めたカップホルダーでお馴染みの「舞杏」から待望の外装パーツが新発表！なんとモノトーンのシボで“京都”を表現する、同ブランドらしい画期的手法のスポイラーだ！



黒バンパーにも同色バンパーにも似合う
さりげない“黒シボ”の主張！



BUAN京・一越友禅アクリルカップホルダー
京都を象徴する「京友禅」、その中でも独特なシボが特徴的な一越ちりめん、透過性あるアクリルを特殊製法で合体させたカップホルダー。美しい友禅の発色は、このBUANブランドの象徴でもある。7875円

京の“極彩色”でお馴染みの舞杏からモノトーンで“京”を表現する新アイテム登場！

貼りでなくABSそのもので表現された「革シボ」スポイラー！
ワイルドでなく、品格さえ漂わす新たなアプローチが斬新

3ピース構造のABS樹脂を特殊製法でシボ表現！



■Fハーフスポイラー (3万9900円)
■Fハーフスポイラー、サイド、リアの3点セット 9万9750円



■リアアンダーフィン (2万1000円)
■ワイパーガード (1万8900円)
■サイドステップ (4万2000円)

ABS素材自体に型入れの段階で「シボ」を刻ませた匠仕事の舞杏「革シボ」スポイラー。純正黒バンパーと絶妙な素材違い感でまさに同色系マッチングの妙といえる。Fハーフ以外にも各種主要パーツに同様パーツを用意。もちろん黒素材のママでなく、塗装状態にしてもこのシボは活きるの、ボディ同色化のスタイルもおもしろいはず。

取材協力 / カズキオート 舞杏事業部
☎072-235-6252 www.kazukiauto.com
www.buan-wagara.jp/

デザインは既に発売となっている通常ABS素材の舞杏スポイラーと同様。走行性を考慮した小ぶりさながら、3ピース構造で繊細なラインを紡ぎ出す。

極彩色“舞杏”のNEWカップホルダー！
フロント周辺アイテムだった舞杏「アクリルカップホルダー」に、大ぶりタイプのリア用がニューリリース。今回新たにスマートフォン置き場も追加されますます便利に。リアヒーター上に装着するタイプなのでベッドキット装着車にはまさに打って付け。「京・一越友禅アクリルカップホルダー京ちりめんリア用」1万2600円。カラーは6色展開だが、全く同様な柄は二つと存在しない。

んを取り入れたことと同様、ちりめんや和紙といった京のイメージを、ABSという全く別ベクトルの素材で美しく、そして本物志向に表現したいため。とかく、VAN DX グレードなどをベースにした黒バンパースタイルには武骨な印象が付きまとうが、この革シボ・スポイラーはむしろ逆。単品での主張を抑え、ハイエースの純正ボディやその他の和柄、舞杏、アイテムと溶け込むようなナチュラルな素材感こそが狙いなのだ。車両にいかにも付けたエアロ、という概念でなく、洋服にアクセサリーを合わせ、感覚で創られる舞杏の外装パーツらしく、今回はモノトーンで見事に京を表現することに成功した。和をテーマにした新感覚ハイエースブランド・舞杏。エクステリアのプロデュースにおいても、やるべきことがいっぱい、ほんなり、してマス！

無表情な黒にシボを入れることで新たな魅力を引き出した新スポイラー
京都の伝統工芸である京友禅とハイエースパーツメーカーの画期的コラボブランド、それが「舞杏 (BUAN)」だ。発色豊かな美しい「京ちりめん」のシボを、アクリルカップホルダーと一体化した同ブランドの看板アイテムは、ハイエースユーザーには既にお馴染みだろう。ユーロでもラグでもアメリカンでもない、「和・京都」をテーマにしたこの異色ブランドに、今回新たなエクステリアパーツが誕生した。それが「革シボ・スポイラー」だ。3ピース構造のブラックカラー・スポイラー表面に、革シボ、風のシボが入るのが特徴なのだが、ありがちな貼りやペイントモノではなく、素材であるABSの熱処理段階でこのシボを直接入れることわりの特殊製法。この手間がかかる製法を用いてまで「スポイラーにシボを入れる」ことに舞杏がこだわったのは、カップホルダーに京ちりめん

What's BUAN (舞杏)?
世界的にブランド化されている「京都」のモノ作りをカーアイテムに融合すべく、大阪のカズキオートと京友禅がコラボして生まれたブランドが「舞杏 (BUAN)」極彩色豊かな細やかなシボが特徴の京友禅「一越ちりめん」と、アクリルを一体化させたカップホルダーが看板アイテム。その他、内装パーツを中心にラインナップ。「和」をテーマにした希有なカーパーツブランドだ。

Produced by
KAZUKI AUTO
大阪府堺市中区東山 45-1
☎ 072-235-6252 www.kazukiauto.com

93年の創業時からハイエース一筋のプロフェッショナルショップ。良質な車輛販売からカスタム&ドレスアップ、一般修理からメンテナンスまで、まさにハイエース乗りにとっては「よろず相談所」的な頼りになる存在。数々のメーカーの専門パーツを扱ってきた同社が、満を持して自社ブランドとして立ち上げたのが、今回の「舞杏 - BUAN -」なのだ。

- BUAN レザーシートカバー京・和柄鯉 3万1500 ~ 4万2000円(フロント用) カラー/ブラック、アイボリー
- BUAN 京・和柄レザーネックパット 2980円(1ヶ)
- BUAN ドアパネルキット京・和柄鯉 1万6800円(左右) 標準・ワイドボディ共用
- BUAN サンバイザーカバー京・和柄鯉 8400円(ワイド用 9450円)
- BUAN エンジンフードカバー京・和柄鯉 1万500円(ワイド用 1万2600円)
- BUAN セカンドフットレストカバー京・和柄鯉 1万500円(ワイド用 1万2600円)



シートカバーは、シフト Bio PVC レザーと京・和柄織 T/C ジャガードのコンビ。独自の型取り製法と熟練した縫製技術によりそのフィット感はカバーの概念をこえている。コクピットのドアパネルもシート同様素材で、あたたかみ張り替えたようなフィット感をワンタッチ装着で実現した。



メタリック素材の和生地で包む
ネオジャパネスな
レザーアイテムたちもラインナップ

インテリアレザー類は、これみよがしに和柄をアピールするのではなく、柄を作る糸に光る素材を使用して無地染めすることで、奥ゆかしいメタリック仕上げとなっている。

こだわりの和をニュースタンダードへ。伝統工芸をカーアイテムへ融合させた京友禅×カズキオートのコラボレート。

「ユーロ」「ラグ」「アメリカン」といったジャンル言葉から「スポーツ」「ワーキング」「トランポ」といった用途別のスタイル言葉まで、ありとあらゆる言葉が氾濫するハイエース・カスタム界。だが、そんなありがちなベクトルとは、まったく違ったところで、まったく違ったハイエースブランドが登場した。その名も「BUAN(舞杏)」。大阪の老舗ハイエースショップ「カズキオート」が「和」というキーワードをベースに、奇をてらわず、長くニュースタンダード

トでいられるブランド&コンセプトとして親しまれるように、思案し辿り着いたのが「京都」。モノ創り自体が世界的にブランド化されているこの地の、代表的な伝統芸能である着物創りにおいてその名をワールドワイドに轟かす「京友禅」と、カーアイテムを融合させたのが、この「BUAN(舞杏)」なのだ。その象徴ともいえるアイテムが「舞杏」のカップホルダーだ。ありがちな木目やアルミ素材でなく、たおやかな本物の京友禅と、硬質なアクリルを特殊技法で一体化させ、透過性のあるホルダーパネルを作り上げた。京友

カラーは、アイボリーの他ブラックも用意。和柄という新しいデザインモチーフをユニセクスのに捉えている。片側に和柄アクリルを用いたベッドキットは、専門メーカーであるカーヴィンとのコラボ(価格未定)。



シートカバー同様、カバーの概念を超えたフィット感がウリのバイザーカバー、セカンドフットレストカバー、さらには盲点であったエンジンフードにも、「京・和柄鯉」が刺繍されたカバーがラインナップ。

禅の代表的加工法である「一越ちりめん」という独特な細かなシボをアクリル内に封じ込め、カラフルでありながら気品に満ちたその存在感は、車内に差し込む光さえも味方に、ほんなり」とした雰囲気を出してくる。ブランド開発担当者も、京都伝統の本物の匠仕事を、ぜひ世界でも類を見ないマルチパーパスカーであるハイエースに、と、カーパーツと融合すべく、足繁く本場に通い実現したコラボブランドだ。舞杏はこのカップホルダーを皮切りに、シートカバーやネックパッドなど、内装全体を、京都ビュティでプロデュースできるアイテムも多数ラインナップ。しなやかな風合いと抜群のフィット感、そして主張せずハイメタリックトーンで入る、和柄、が新たな価値観をハイエース車内にもたらせてくれるはずだ。今後もアイテムは続々登場予定。ハイエース空間作りの新へクトル「舞杏」、今後の動向に注目すべし!



↓BUAN コレクションは、内装だけでなくエクステリアパーツもラインナップ。クルマのエアロという発想よりもファッションのようなボディアクセサリー感覚をコンセプトとしたエアロ群はすべてABS製樹脂。花びらのようなディスクデザインを持つホイールも BUAN コレクションのひとつだ。



すべて1点モノ!

京都の“ほんなり”をハイエースアイテムへ! サキヨミ☆箱車トレンド

京友禅 × 貳百系

新アイテムをアラカルトで紹介してきた今回の「サキヨミ☆箱車トレンド」だが、最後に登場するのは、いまだかつてない「京都」をキーワードに、「匠の和柄とカーパーツの融合」をアイデンティティーとした新ブランド「舞杏(BUAN)」。その斬新かつ文字通りたおやかな発想力の見事さをご堪能あれ。

取材協力/カズキオート舞杏事業部
www.buan-wagara.jp/

舞杏

- BUAN 京・一越友禅 アクリルカップホルダー 7875円
- ・対応車種/ 200系標準 S-GL、200系ワイド S-GL、ワゴン DX、ワゴン GL、グラウンドキャビン、コミューター ※DX車のマルチユースシートバックコンソールには装着不可



同じ柄パターンは存在しない!

高級感ある細やかなシボが特徴の京友禅の伝統的手法「一越(ひとこし)ちりめん」を、特殊技法によって透明なアクリルと一体化させたのが、このカップホルダー。メインカラーは紫、黒、桃色、青、白、白×黒となっているが、アクリルと合体させた一枚物の友禅柄から1品ずつカットするため、同じ色味でも濃さや柄が違い、まったく同じモノは存在しない。